



全国高校総合体育大会「感動は無限大 南部九州総体2019」は27日、鹿児島アリーナで総合開会式が行われ、本格的に競技がスタートする。8月20日までの間、南部九州4県（鹿児島、熊本、宮崎、沖縄）と和歌山県を舞台

青森県勢展望

に、若い力が31競技で日頃鍛えた力と技を競う。青森県勢はレスリングや相撲、陸上、バドミントンなどで上位が有力視される。

主な競技の行方を展望すると、レスリング男子個人では51kg級の荒道豊樹（八学光星）、55kg級の小川颯太（工大）の2選手が優勝を狙う。相撲は、東北高校総体団体Vの三農が上位へ食い込めるか。同総体個人選手権Vの山

崎勝磨（三農）が個人でも上位の期待がかかる。陸上女子では菊池聖奈田

レス、相撲 上位有力視

ル表彰台も期待できそうだ。自転車では、成長株の畑崎大輝（八戸工）が3千円個人追い抜き、ロードレースで全国の強豪とどこまで張り合えるか。八戸工は4千円団体追い抜きで入賞を目指す。

フェンシングでは男子個人フルール、同エペの坪颯馬（田名部）、団体フルールの田名部に入賞の期待。ソフトテニスの工大一勢も楽しみだ。（金濱千優希）

剣道女子団体の東義、バドミントン団体の浪岡が優勝候補の筆頭。バドミントンの奈良岡功大（浪岡）は単複、団体の3冠を狙える逸材。サッカーの青森山田は1回戦で前橋育英（群馬）と対戦し、勝って頂点へ弾みをつける。バスケットボールは男子の八学光星が岡山商大付（岡山）、女子の柴田は徳山商工（山口）と1回戦で激突する。八学光星は初戦を飾りたい。ソフトボール女子のウルストラは2回戦で「星野（埼玉）ー伊勢学園（三重）」の勝者を迎え撃つ。

アーチェリー団体は三農が9年ぶりに男女そろって出場。弓道団体は男子が八戸工、女子は八戸商が強豪に挑む。